

きずな

SENBI

2018年4月

第3002号

《新年度（第38期）を迎えて》

魅力ある会社に

代表取締役社長

中田 義秀

例年になく厳しい寒さが続いた冬も終わり、当たり前のように草花が芽吹き、咲きほころぶ春がやってきました。

当社は3月末で無事第37期を終える事ができ、改めて感謝いたします。

しかしながら、ほとんどの企業は悪戦苦闘しながら、まだ来ぬ春を待っているのが現実です。

米国は貿易不均衡を盾に日本を含む貿易黒字国に対し、関税の引き上げを行おうとしています。また、トランプ大統領は5月までに北朝鮮の金正恩最高指導者と会談を行うと報じられています。

一方、日本経済の舵取りを担う国政は、連日のように「森友学園」の公文書書換えによる問題の質疑に明け暮れており、世界を揺るがすこの大きな動きに対しどちらに向けて政策が行われているのか、はなはだ疑問に感じているところです。

会社は、こうした混迷する日本の政財界において、今こそ将来を見越した適切な判断のもと、会社を発展させていくことが求められます。

私は昨年、第37期への抱負として人材育成を掲げました。そして平成30年の新年を迎えた抱負でもこの考えを踏襲することを申し伝えました。

仕事はあるが人材が揃わない。人材が揃わないから仕事が確保できない。こういった悪循環を取り除くためにも、新規、中途採用を積極的に行なうと同時に、人材の育成や確保など人事制度の構築は喫緊の課題として捉えています。

就職戦線では依然として売り手市場が続いており、会社に特筆する魅力がない限り優秀な人材は集まりません。

魅力ある会社づくりを企業理念の根幹として位置付け、その中においては「イメージ戦略」への取り組みが非常に重要であると考えています。

この「イメージ」とは、いつも申し上げているとおり「センビに任せて良かった。」と、どの顧客からも認めもらえる会社としてのイメージ、さらには地域活動や貢献を通じて地元から必要とされる会社としてのイメージです。

このため、あらゆることに挑戦していかなければなりません。今後、営業会議などにおいて必要な戦略についてお示しをしていきます。

これからも社員の皆様が健康で安心して生活や勤務できる環境を築き上げ、センビに勤めて良かったと感じてもらえる魅力ある会社づくりのため、誠心誠意努力していくことをお伝えし、新年度を迎えてのあいさつとします。



人事異動・組織

【平成30年1月1日付け】

新規採用 社員 竹本直樹

【平成30年4月1日付け】

新規採用 課長 長井政博

【組織図】

(平成30年4月1日)



株主総会

取締役会

代表取締役会長
並川 壽男

代表取締役社長
中田 義秀

監査役
神田 陽博

顧問
谷花 紀彦

設備推進部

常務取締役
松井 和夫

部長
早志 政明

課長
榎本 崇志

係長
梶本 英司

業務推進部

取締役部長
金井 秀文

主任
柚木 裕子

主任
中野 賢治

警備推進部

代表取締役社長
中田 義秀

課長
上山 武士

主任
平井 和之

瀬川 行広

広瀬 保樹

営業
推進本部

課長
坂本 裕二

課長
松平 繁

主任
三村 光子

神田 雅章

推進部

監査役
神田 陽博

課長
長井 政博

竹本 直樹

総務経理部

課長
真宅 陽子

金井 浩之

田中 信生

高畠 絵美



呉営業所

所長
齋藤 敦則

所長代理
神原 欣也

東山口
営業所

所長
本田 健一

主任
林 光弘

三次営業所

所長
平田 勇

主任
新家 逸宏

東広島
営業所

所長代理
大岡 章三



平成30年度 年間安全衛生推進計画



今年度の安全衛生推進計画を策定しました。
現在、安全衛生管理は企業責任として、また社員の責務として、積極的に取り組んでいくことが必要とされています。
皆様は、会社が定めた安全衛生の推進計画に基づき、確実に履行され、健全な勤務環境を育て上げてください。



スローガン	「変わる環境、変わらぬ基本。正しい作業で無災害！」
基本方針	安全衛生推進体制の充実を図り、株式会社センビとしての安全衛生管理体制を確立することを基本方針とする。
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危険予知ミーティング（KYM）活動の促進 ○ モラルの向上、安全意识高揚の推進 ○ 安全衛生教育の推進 ○ 死亡事故ゼロ、休業災害ゼロ ○ 指差し呼称の徹底

実施項目	活動日程（実施月・強化月間）												補足説明事項	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
①全国安全週間行事の実施			●	◎										一斉運動時
②全国労働衛生週間行事の実施						●	◎							一斉運動時
③年末、年始無災害運動の実施								●	◎	◎				12/15～1/15
④春季無災害運動の実施			●	◎	◎									7/15～8/15
⑤春季・秋季交通安全運動の実施	◎	◎			●	◎	◎						●	一斉運動時
⑥電気使用安全月間				●	◎									8/1～8/31
⑦安全衛生会議（委員会）の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎月1回
⑧安全衛生担当者の職場パトロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	随時実施
⑨安全朝礼の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	朝礼時
⑩年間安全衛生推進計画の策定											●	●	○	1月から検討
⑪安全衛生推進計画の周知	◎	◎												4・5月重点
⑫安全管理者の確保・充足	○	○	○	○										7月までに取得
⑬衛生管理者の確保・充足	○	○	○	○										7月までに取得
⑭安全衛生推進者の確保・充足	○	○	○	○										7月までに取得
⑮安全衛生委員会の設置				●	●	●	○							10月設置予定
⑯安全衛生委員会委員の選任				●	●	○								9月指名
⑰ストレスチェック制度導入準備								●	●	●	●	●		
⑱作業手順の見直し・検討														必要の都度
⑲車両の使用前点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑳健康診断の実施									◎	◎	◎	◎		4か月間で実施
㉑産業医による事後措置の実施	○									○	○	○		
㉒熱中症対策の重点的実施				◎	◎									④と連動
㉓花粉症予防対策の重点的実施	◎	◎										◎	◎	4月重点実施
㉔救急用具、薬品の常備	○						○							
㉕作業に適した服装の励行														常時実施
㉖各部署責任者の教育														随時実施
㉗新規採用者の安全教育														採用の都度
㉘作業監督者、作業従事者の資格確保														計画に基づく
㉙安全衛生関係講習会等の受講														他機関開催分
㉚安全衛生大会・会議の参加														他機関主催分
㉛ヒヤリハット・災害事例の周知														安全衛生会議



花粉症対策

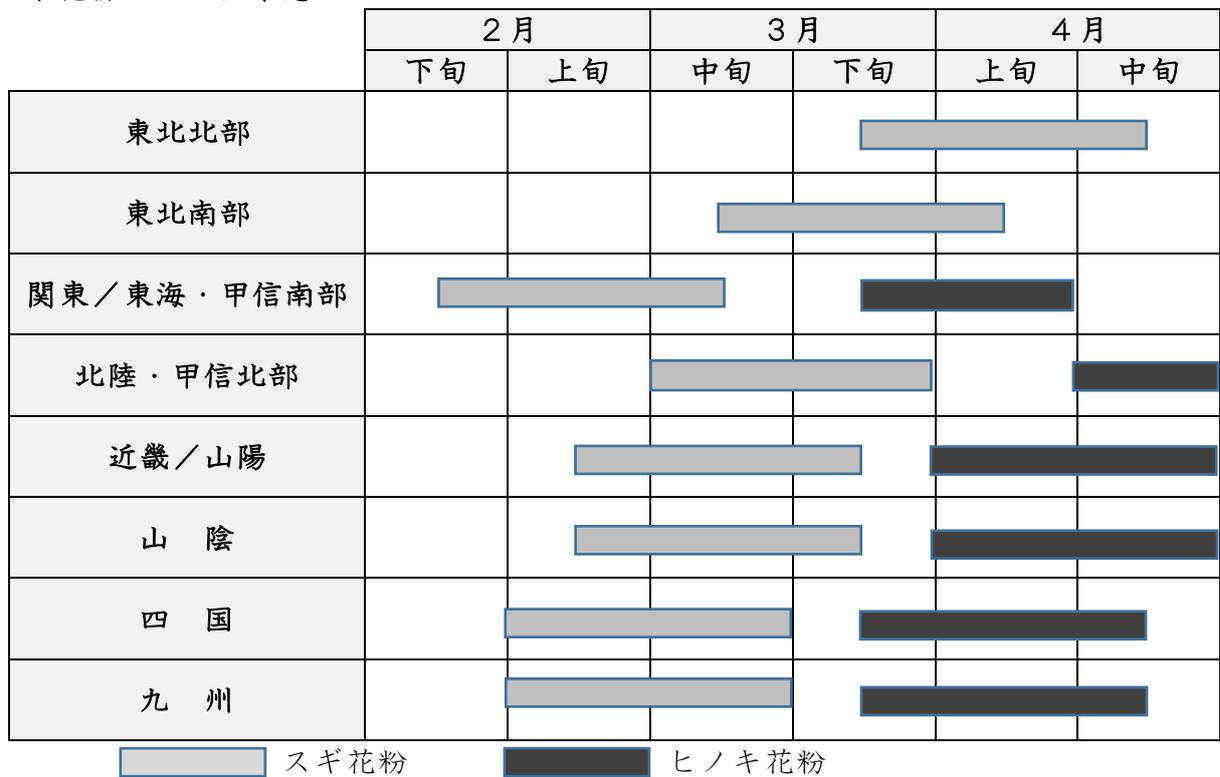


また、花粉症の季節が来ました。

今年春の花粉飛散量は、広い範囲で前シーズンの飛散量を上回る見込みだそうです。東北から中国、四国地方にかけて「非常に多い飛散量」の都道府県があり、注意が必要となっています。

花粉症などアレルギーを引き起こす物質であるアルゲンは、食べ物や化学物質など生活環境の中にごく普通に存在しています。花粉症の発症は、個人の体質も大きく影響しますが、環境の変化やライフスタイルの多様化など、目まぐるしい生活環境も大きな影響をもっているようです。

◆花粉のピーク予想



◆季節ごとに飛散する花粉【一般財団法人日本気象協会発表資料】



◆セルフケア

ゴーグルやマスクを着用のほか、花粉症への一般的なセルフケアについて紹介します。



【室内に花粉を持ち込まない】

花粉の付着しにくい上着を着用したり、帰宅時に玄関の外で花粉を落とししてから入室することも有効な対策です。換気などのために窓を開けること、洗濯物など屋外で干した場合は、取りこむときにブラシで払うか掃除機で吸い取ることが奨励されています。



【掃除】

どうしても花粉は屋内に侵入するので、床の花粉を舞い上げないように掃除機ではなく濡れ雑巾による拭き掃除が推奨されます。

【空気清浄機や清浄機能のあるエアコンを使用】

室内に浮遊している花粉を除去します。空気清浄機は風量の豊富なものを選択し、花粉が落下する前に吸い取ることが大切です。

【加湿器】

浮遊している花粉を湿らせて重くし、落下を早めるために有効です。湿度を高めることは鼻や喉の粘膜のためにも良いそうです。ただし、湿度を上げ過ぎるとダニやカビの問題が出てくるので注意が必要です。(50%程度が適当)

◆「L-92乳酸菌」の効果

試験の結果、「L-92乳酸菌」配合食品を摂取すると、目や鼻の花粉症症状が改善した報告があります。個人差はあると思いますが、一度試してはいかがでしょうか。



パンフレット完成



「きずな」3001号でご紹介しました株式会社センビの案内パンフレットが完成しました。

営業推進本部で在庫管理を行っていますので、必要の際はお申し出ください。

新しいパンフレットは、A3のカラー両面印刷二つ折り(A4の4頁)で、1面は表紙、2面3面は社長あいさつ文と事業案内、裏表紙は会社概要とした構成となっています。

また、表紙と裏表紙は一体化した虹の写真でデザインしていますが、この写真は「快適と安心そして信頼」の橋渡しをイメージしたものです。

編集後記

≡ 感 動 ≡

平昌冬季五輪が終わりました。
日本選手の活躍に多くの感動を受けられたことと思います。

羽生選手のフィギュアスケート2連覇も凄かったです。
「そだね～」で一躍話題になったカーリング女子もです。
スピードスケートの小平選手が金メダルを決めた後、韓国
の選手を労う姿も感動的でした。

更には、団体追い抜き（パシュート）女子の世界を啞然とさせたスケーティ
ングの総合技術力など、数え切れないほどの感動的場面に接しました。

この感動は、1つ1つの競技に打ち込む姿やその過程が粗筋のないドラマで
あり、そして、この日のために限界まで自分を追い込み、苦境を乗り越えてき
たアスリート魂があるからこそ私達の胸に響き渡るのだと思っています。

そんな中、日本人で1番初めにメダルを獲得した男子モーグルの「原 大智」
選手について紹介します。

原選手は、13歳の頃から憧れである12歳年長の「平子 剛」選手兼コーチ
のもとで、兄と弟のようなフランクな関係を築きながら二人三脚で世界のトッ
プを目指していました。

その兄として慕っていた平子コーチが5年前、若干27歳という若さで急逝
されたのです。当時15歳だった原選手は、とても受け入れがたく大きなショ
ックを受けたのですが、自分を奮い立たせ、棺の前で目を真っ赤にして「絶対
オリンピックで金メダルを取ります。」と大きな声で誓ったそうです。

あれから5年、見事オリンピック出場を果たした原選手は、色は違いましたが
銅メダルを獲得しました。そして、第一声が亡きコーチへ感謝の気持ちを込
めたメダル獲得の報告でした。

亡き我が子の愛弟子が活躍する姿に感涙を抑えながら見守っておられたご両
親は、その言葉を聞かれた瞬間、これまで抑えていたものが堰を切ったように
溢れ出し号泣されたそうです。

兄と慕っていた亡きコーチへの特別な思いと強い絆、そして
その関係を温かく見守ってこられたご両親の気持ちが痛いほ
ど感じ取られ、強く心打たれたのです。

オリンピック出場を果たした選手の中には、骨折を押して
活躍されたノルディック複合の渡部選手のように、誰もが知
り得ない精神的、肉体的な試練を乗り越えて活躍された選
手が多くおられます。

その苦境を乗り越え、私たちに溢れんばかりの感動を与
えていただいた選手に心から敬意を表したいと思います。

《文責 推進部N.T》

